

第19回 あわら市都市計画審議会議事録

- 1 開催日時 平成30年7月26日(木)午後2時
- 2 開催場所 あわら市役所 203会議室
- 3 議 事 議案第一号 嶺北北部都市計画道路の変更(あわら市決定)
(案)について
- 4 出席者
 - 1号委員(学識経験者) 川上洋司(会長)堀江与史朗 柳川奈奈
五十嵐平
 - 2号委員(市議会議員) 堀田あけみ 山口志代治 毛利純雄
 - 3号委員(関係行政機関)竹内一介(三国土木事務所長)
代理出席 野坂博之(技術次長)
伊藤隆信(坂井農林総合事務所長)
代理出席 小堀健司(農村整備部長)
谷崎哲志(あわら警察署長)
代理出席 新野洋介(交通課第一係長)
 - 事務局(幹事) 小嶋範久 鳥山公裕
(事務局) 龍田雅人 大味雅彦 杉本憲太郎 鍛川優希
山本紹央 佐々木良晃 立田良祐
- 5 議事の内容
 - 事務局 開会のあいさつ、出席状況の報告を行う。
 - 会 長 これより議事に入る。(事務局の説明を求める。)
 - 事務局 (議案第一号について説明する。)
 - 会 長 (委員に意見、質問を求める。)
 - 委 員 東西自由通路があるが、これは在来線の自由通路のGLと同じ高さか。
 - 事務局 在来線の自由通路と比べると、1.2mほど高くなる。スロープと階段をつけて、高さを合わせる計画である。
 - 委 員 ローター部が現在より北側に移るため、在来線利用者にとっての利便性が悪くなるのではないか。
 - 事務局 一般車の乗降部分から在来駅の階段まで距離があるので、多

- 少不便になるかもしれない。
- 委員 西口駅前広場の観光バスは何台待機できるようになっているか。
- 事務局 観光バスについては待機場所を設けていない。
- 委員 それでは西口の方では客は乗降のみで、恒常の待機は東口へ移動しないとイケないということになるのか。
- 事務局 観光商工課と協議した結果、大型バスの待機所が必要だということで東口の方に臨時の待機所を 2 台分設けた。ただしこの場所での乗降も考えているので、待機のみスペースについては今後検討していきたい。
- 委員 西口駐車場では、10 人乗りほどの大きい乗用車の駐車スペースはあるのか。
- 事務局 通常の乗用車の駐車場を考えているので、10 人乗りワゴンなら駐車可能である。ただし大型バスなどの特別大きいスペースは用意していない。
- 会長 在来線との連絡通路に関しては、自由通路と同じ時期に施工するのか。
- 事務局 同時期に計画している。連絡通路は鉄道運輸機構で整備し、自由通路に関してはあわら市が整備する。
- 委員 西口駅前広場の南側のスペースは今回計画決定しないのか。
- 事務局 平成 32 年度の審議会にて審議をお願いする予定である。
- 委員 芦原温泉駅西口線について、函面では途中で止まっているが延伸の計画について知りたい。
- 事務局 県道水口牛ノ谷線に接道するような計画を立てている。平成 32 年度に広場の南側の都市計画決定をする際に、こちらも決定したいと考えている。
- 委員 都市計画は全体を計画して長期的に考えていかなければならないので、計画をその都度決定するのは住民の理解も得られないのではないか。
- 事務局 芦原温泉駅西口線は、新幹線開業の平成 34 年度までに整備完了していなければならない路線と考えている。現在、用地の交渉を進めている中で、都市計画決定をしたができないということがないように調整しながら慎重に進めているところである。
- 委員 その件についての現在の進捗状況について知りたい。
- 事務局 芦原温泉西口線の先については、ほとんど用地交渉ができて

おらず、特に県道との接道部分について慎重に協議しているところである。今回決める芦原温泉西口線の位置に関しては線形の変更がないものとして今回都市計画決定をしたいと思っている。

会 長 ここにつながると利便性が上がるというベストな箇所を決めて、建築制限をかけるなどしていくべきだが、地元のとの調整も同時に考えていかなければいけない。この路線は北側につながないと駅へのアクセス道路としてうまく機能しないため、これから協議を進めていってほしい。

委 員 西口駅前広場に関して、路線バスの乗降所付近の歩道が狭く、待つ場所がないのではないかと。

会 長 シェルターのようなものは計画があるか。

事務局 乗降所の幅員が3.5mということで広くはないが、シェルターの計画はしている。

会 長 西口駐車場に停めて駅の方に行く場合、どういう動線になることを想定しているか。

事務局 aキューブの前を通過して、現在の平和館の横を横断することになると考えている。ただ、エレベーターの配置を検討中のため、配置した箇所によっては北側の横断歩道を渡るような動線になると考えられる。

委 員 東口の中で、広場にも道路にも追加されていない南側の箇所でも、赤線で囲ってある場所は何か計画しているのか。

事務局 今回の都市計画決定の区域ではないが、あわら市の用地として確保しており、ポケットパークを整備する計画である。道路によって分断されるので、ポケットパークは東口駅前広場には含めていない。

委 員 北側の広場の横の四角の空間はどのような位置づけなのか。

事務局 広場の一部で、ロータリーの環境空間としている。

委 員 芦原温泉駅東口線の計画幅員が14.0mと表記されているが、実際路線の大半にバスの待避所があるため、待避所を含めた17.5mを幅員とすべきではないのか。

事務局 その件に関しては県と協議を重ねたが、待避所は道路としての標準部ではないということで14.0mの表記とした。

会 長 待避所が一部なら分かるが、全区間17.5mなので違和感がある。待避所も車道の一部とすればいいのではないかと。

事務局 再度確認する。

委員 再度東西自由通路について確認するが、1.2m高くするという
ことだが、なぜあわら市の事業として全部やるのか。

事務局 既存の駅舎の高さが今のままだと不適合となり、新たに作る
場合は規定に合わせないといけないためである。

会長 新幹線が全線開通する時期に、駅舎も含めて構造的耐用年数
が来るだろうから、そのタイミングでもう一回大改造する余
地を考えておいてはどうか。あわらとして再度注目され、利
用者も確実に増えると思うので、駅舎に関しては長期的なも
のとして考えるべきだ。

会長 地元説明会を重ね、縦覧もして特に意見が出ていないという
ことで、この議案に対して他に意見がない場合はこの内容で
可決ということによろしいか。

全委員 異議なし。

会長 異議なしということで1号議案は承認いただいた。ありがと
うございました。それでは、都市計画審議会はこれで終了す
る。

6 閉会の日時 平成30年7月26日 午後3時30分